

ミクロン単位の精度を追求。 検査設備の充実で、トータルな受注力のアップを図る。

株式会社サクシーディング

一創業からの歩みをお聞かせください。

当社には、前史とも言うべき時期があります。すなわち昭和48年、ある大手電子部品会社が東北地区への製造移管を図る際に、その第一陣として岩手県に設立した工場がルーツです。

当時は加工・組み立て工程を担当しておりましたが、その後、10年ほどのスパンで何社かが分離・独立していく流れの中で昭和50年、サクシーディングが誕生しました。さらなる付加価値を求め、生産技術の強化・拡充に向けて機械設備を積極的に導入。今日に至る基礎を固めることができました。

やがて、中国をはじめ海外へ製造業がシフトしていく動きが顕著になる中で、当社が独自に培った機械加工技術をベースに金型・自動機・治工具ならびに機械加工部品の製造強化に乗り出しました。技術・コストの全般に渡って海外勢に対抗し得る競争力さえ確立すれば、モノづくりにおける国際競争に勝ち残れるという戦略眼が、そうした判断の根底におりました。

大きなエポックとしては、平成9年に県から中小企業創造活動促進法に基づく「研究開発等事業計画」の認定を受けたことも挙げられます。プレス部品を主体に自社製品の開発を手がけるようになると同時に事業転換を図って機械装置分野への本格的な参入を開始

しました。また、平成14年8月に医療用具の製造承認を得て歯科矯正器具の製造を開始しています(承認番号21400BZ00294000)。

自然な環境の中でのびのびと仕事ができるよう岩手県南地区の中心に位置する川崎村に工場を新設したのは、平成4年8月からです。ほとんどの従業員を地元採用するなど、微力ながらも雇用の面で貢献させていただいております。社名が意味する如く『絶えざる創造への活動』をモットーに「NOとは言わない。どうすれば取引先からのニーズに応えられるか」という意識を全社員で共有しながら日々、モノづくりに邁進中です。

一事業の現況はいかがですか。

エンドユーザーを含めた市場の動きを反映する形で、液晶装置部品をはじめ半導体装置部品、自動車部品などのオーダーが堅調に伸びています。取引先との情報交換では、景況に好転の兆しが見られて設備投資マイルも回復基調なので、液晶・半導体を中心に増産への動きが続くであろうとの見込みが示されています。

具体的な生産品目はプレス・モールド金型、治工具、各種装置ならびに、それらの部品加工や配電盤など。新しい柱である歯科矯正器具も、安定的な需

要の見込める品目として育ってきました。衛生面に直結する高レベルの信頼性を確保するため、ステンレス材料に関する諸データを蓄積して活かすとともに、加工技術の絶えざる向上を図りながら量的な拡大をめざしています。

取引先企業は、延べ40社に上ります。大手の電機メーカーや自動車部品メーカーとの連携を深めることで先端的な技術動向を把握、タイムリーな情報に接することで現場スタッフの士気が高まっています。受注完了となった案件でも造ることのプロという立場から提案があれば、どしどし申し出て検討を重ね、より良い方法を採用するよう努めています。Webに常時接続している専用線を介する受注パターンのほか、Eメールによる図面の送受信でやり取り完了というケースも増えてきました。

一特に心がけていることは何ですか。

お客様あつての私たち、という気持ちを絶やすことなく不断のモノづくりに取り組んでいきたいと願っています。まず、継続的に発注していただくためには、その大前提として相手との信頼関係を築かねばなりません。誠意を尽くして結果を出し、大きなメリットや満足感を引き出す。こうした当たり前とも言える企業努力を重ねています。

どのような案件であれ、ご一報いた

できれば知恵を絞り、技術を結集し、製造シフトを組んで求められる品質を実現する...これが当社の一貫したスタイルです。液晶関連、自動車関連、半導体関連というように、いくつかの大きな柱が確立している点は、多岐に及ぶ技術領域に対してオールマイティーに機能できることの表れです。その時、その時の受注内容に応じ、機械加工プラスアルファの技術要素を引き出して組み合わせられるのが強みです。

一今後の展望ならびに経営の方針を。

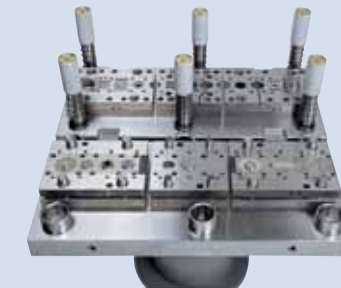
ミクロン単位の微細加工が可能であること、しかもアッセンブリーに長けていることを大きなセールスポイントとして伸ばしていこうと考えています。加工が難しいもの。あるいは厳しく精度が問われるもの。オーダー内容は、こうした二大傾向に分けられますが、ある程度の実績が残されると、その波及効果として優れた技術の集積も進み、企業力の底上げにつながるでしょう。

また品質の安定化・高度化に向けてもベストを尽くします。部品精度に加えて完成精度に求められるレベルも高まっ

ているので、管理技術の強化に努め、協力工場の育成にも力を注ぎます。三次元測定機をはじめとする各種検査設備の充実を通して、トータルな受注力を向上させる方針です。

こうしたビジョンの実現を担う人材への投資も重視しています。今春は高校卒4名、短大卒1名を技術職として採用。すでに導入教育を終え、それぞれが現場で活躍中です。コンピュータ化、汎用機の普及といったおかげで、意欲的で向上心のある若年層の戦力化がスムーズになっています。

まずは、モノづくりに興味を持ってもらうのが出発点。そして、まっさらな段階から有為なる人材へと、その人の可能性を縦横に引き出していく。そうした環境の充実が、当社の確かな未来につながると思っています。



順送プレス金型



三次元測定器



放電加工機(型彫・WE)



マシニングセンター



自社製品(フォーミングマシン)



代表取締役 赤堀 恵秀

企業概要

設立：昭和50年4月
代表者：赤堀 恵秀
所在地：岩手県東磐井郡川崎村門崎字銚子153
電話番号：0191-43-3612
FAX：0191-43-3678
URL：http://www.succee.com/
E-mail：kanri@succee.com
資本金：1,000万円
従業員数：28名
事業内容：精密機械部品加工、金型・治工具製作、医療器具製作、制御・配電盤製作、各種組み立て・調整・検査業務

主要取引先：(株)芝浦メカトロニクス、(株)芝浦プレジジョン、富士通(株)日本電産、(株)トキンマシナリー、(株)ミスミ、(株)旧立メディア 他

主要設備：
検査設備 三次元測定器(東京精密) 投影機、マイクロライト、顕微鏡、データ処理装置 等
加工設備 マシニングセンター(2台)、ワイヤーカット(2台)、CNC旋盤(6台)、NC放電(型彫)(1台)、細穴放電(1台)、成形研磨(4台)、平面研削盤(2台)、円筒研磨盤(1台)、NC/汎用フライス2台、三次元CAD/CAM 等

